

「阿久根市子ども読書推進計画（第4次）（案）」に対する意見と阿久根市の考え方

4月15日から5月14日までの間に募集しました「阿久根市子ども読書推進計画（第4次）（案）」についての意見と阿久根市の考え方について掲載します。

●提出人数 2団体

●提出のあった意見数 1件

意 見	市 の 考 え 方
1 表紙のキャッチフレーズ (内容) これまでの表題は、「3次阿久根市子ども読書活動推進計画」となっていたが、今回は「本がつむぐ未来」となっています。 「読書活動は、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で大切である。子どもや大人が、継続して読書に取り組んでほしい。」というメッセージが伝わる、いいキャッチフレーズです。	ありがとうございます。 「読書を通して、世代間を紡ぎ、また自己内の時代を紡ぐことで、各自が豊かな人生を歩めること」を願って策定しております。
2 P5 推進計画（第4次）策定に当たって (内容) 今回の計画も、国・県の基本方針、本市の第3次推進計画に基づき、本市の現況等を踏まえた内容になっています。	ありがとうございます。 推進計画（第4次）も、これまでに蓄積された成果・課題の分析を踏まえ、各基本方針に沿って、継続・改善していくことを主眼としております。
3 P8 発達段階に応じた読書活動の推進（全体像） (内容) 時期に応じた取組が明示されており、よいと考え	貴重な御意見ありがとうございます。具体的な取組の時間を明記し、あらゆる機会を通して発達段階に応じた取組の推進を行っていきたいと考えます。

るが、特に、小学生期や中学生期の取組は、どのような時間に取り組むのか、具体的な明記があれば、さらによいと考えます。最終的には、各学校の決定になると考えますが。	(修正前) P 8 次の内容には、小学生期から高校生期まで、発達段階に応じて本の分野（文学・歴史・科学・芸術等）やジャンル（小説・記録・説明・批評等）を広げながら取り組みます。 (修正後) P 8 (加筆) 次の内容には、小学生期から高校生期まで、発達段階に応じて本の分野（文学・歴史・科学・芸術等）やジャンル（小説・記録・説明・批評等）を広げながら取り組みます。<u>（朝読書、読書の時間、子ども読書の日、教科指導、総合的な学習の時間、読書週間・旬間・月間等の時間を活用して、継続的・集中的に取り組みます。）</u>
4 P11 子どもの視点に立った読書活動の推進 （内容） 「図書館に行く頻度」の図が明示されていますが調査年度・対象者が分からないので、記載した方がよい。	御意見ありがとうございました。P 3、4を含め記載いたしました。 (修正前) ・（全国学力・学習状況調査から）P 3、4 ・（全国学力・学習状況調査から）P 11 (修正後) P 3、4、11 ・（全国学力・学習状況調査から <u>本市分</u>）P 3、4 ・（<u>令和5年度</u> 全国学力・学習状況調査から <u>本市分</u>）P 11